



枕崎市では学校応援団などのボランティアの方々が、寒さに負けず子供たちと様々な地域学校協働活動を行っています。今月も市内で行われた活動を紹介します。

## ～青少年講座「まくらざき野鳥のお話」 珍鳥確認の快挙～ 枕崎地区公民館

枕崎地区公民館の青少年講座「まくらざき野鳥のお話」が2月4日に行われ、日本野鳥の会かごしま県支部の小園卓馬さんに指導していただき、花渡川河口で野鳥の観察会を楽しみました。

小園さんからは、野鳥観察の基本や双眼鏡の使い方などを教わり、河口に浮かぶカルガモやセグロカモメなどを観察しました。



確認されたチャガシラカモメ(上) 下の鳥は ユリカモメ

ユリカモメが2羽泳いでいるのを見て、小園さんが特徴などを説明してくれましたが、2羽の大きさがあまりにも違いすぎるので「大きいほうが珍鳥ではないか」と思っていたそうです。

小園さんの調査の結果、日本で数例しか確認されていない「チャガシラカモメ」であったことが分かり、後日、南日本新聞と朝日新聞でも紹介されました。

参加者は少ないでしたが、日本で数例目の珍鳥の目撃者となり、10数種類の野鳥も観察することができて、成果のある野鳥観察会となりました。



野鳥の説明をする小園さん(右端)

## ～鹿児島水産高校が「どこでも授業」 カツオパスタを調理～ 枕崎中学校

枕崎中学校では2月8日と9日に鹿児島水産高校による「どこでも授業」があり、2年生と1年生が2クラスずつ「カツオパスタ」の調理実習を行いました。

鹿児島水産高校食品工学科の先生と枕崎中卒業生で現鹿水高生が8日に6人、9日に5人来ていただき、中学生と一緒に調理に取り組みました。

2月9日の授業では、鹿水高の「かつお捌(さば)き隊」に所属する高校生がカツオをさばいて見せてくれました。目の前で、あつという間にさばかれていくカツオを見て、生徒たちは驚き、随所で拍手をしていました。

中学生は、鹿水高の方々に指導してもらい、カツオの皮はぎやニンニクのみじん切りなど難しそうに取り組んでいましたが、最後は美味しい「ガーリックオイルのカツオパスタ」ができあがりました。



美味しいパスタが完成



カツオの皮をはぎ、サイコロ状にカット

学校応援団ボランティア 募集中!

詳しくは  
生涯学習課まで

TEL76-1286

## ～枕崎駅の歴史・JR乗車体験など 盛り沢山の社会科見学～ 桜山小学校

行いました。枕崎駅では中原水産の葛岡さんから、枕崎駅の歴史や列車キハについて話を聞くことができました。

また、南薩地域振興局の方には富吉郷太さん原作の「キハ47 いぶすきまくらざきせんをゆく」の紙芝居の読み聞かせをしていただき、枕崎観光協会の方からは枕崎駅舎の山幸彦や「ハート型の石」の説明がありました。

その後、市のバスで薩摩板敷駅まで行き、枕崎駅までJRの気動車に乗車して、JRの方に指宿枕崎線についての話をいただきました。

盛り沢山の社会科見学で、枕崎駅の移り変わりなどを多くの大人から学ぶことができました。



枕崎駅の歴史について説明する葛岡さん

## ～音楽の授業で太鼓の演奏体験 火の神太鼓が来訪～ 枕崎中学校

枕崎中学校では2月7日の1年生の音楽の授業に「枕崎火の神太鼓」から4名の講師に来ていただき、太鼓の学習と体験、太鼓演奏の鑑賞を行いました。

講師は、平田友子さん、平田理子さん親子、下山奈那さん、萩原花史さんの4名で、1年2組が3・4校時に1年1組は5・6校時に授業をして



「やまびこ」のように太鼓を打ち返す

いただきました。最初は太鼓の演奏から始まり、その後たくさん太鼓の名称やその特徴を説明していただきました。

実際に生徒が太鼓を打つ体験では、「やまびこ」という練習を行い、講師が打ったとおりに生徒が太鼓を打ち、最後はみんなで太鼓を合わせて打ったという達成感を味わって、全員が満面の笑みに包まれました。

体験の後は、火の神太鼓の皆さんの演奏も披露していただきました。生徒からは「一人で太鼓を打ってる時も迫力があつたが、3人で太鼓を打つと大迫力だった。笛も太鼓に負けず大きな音が出ていた。」などの感想があり、貴重な体験になりました。

## ～箏(こと)と尺八の演奏会で 生の音色に触れる～ 立神中学校

た。箏はマーガレット会の川越支津子さん、山口直子さん、南條晴美さん、尺八は都山流竹示会の椎原久昭さんに来校いただき、演奏と解説をしていただきました。

箏の解説では「箏は奈良時代に日本に伝わった。13本の糸が張られており、弾き方によって様々な音を出すことができる」との話がありました。椎原さんからは「尺八は吹く人によって音色が違う。また、色々な音色を出せる楽器である。」などの話がありました。

生徒たちは、「春の海」や「越後獅子」など5曲の箏と尺八の演奏を真剣な態度で鑑賞していました。

箏と尺八の生の音色と素晴らしい演奏に触れて、普段はできない貴重な体験ができました。



箏と尺八の「未来花パートII」の演奏に聴き入る